

分類	記号	項目	時間的 接点	財務上 の潜在 的影響	想定される外的環境の変化	事業へのインパクト	IDECグループの対応	
移行 リスク	市場	1	原材料のコスト増加	短期	A	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害等による工場の稼働停止、輸送の停滞 それに伴う部品・材料不足、輸送費高騰の発生 カーボンプライシング上昇が招くエネルギー料金高騰による原材料の製造コストへの影響 	<ul style="list-style-type: none"> 原材料調達・製造コストの増加 それに伴う粗利の減少または不可避の値上げによる顧客離れ 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なサプライヤー、顧客との相互理解深耕による、一時的な原材料高騰への対応 中長期的な原材料アップを見越した製造コスト低減、計画的な製品リニューアルによる原価低減
		2	変化する顧客行動	長期	C	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の環境対応志向の高まり 環境に配慮した製品・サービスが購入の判断材料となるウェイトの増加 	<ul style="list-style-type: none"> 自社製品の従来の付加価値が、顧客ニーズと一致しなくなる事による、売上減少 環境配慮の遅れに伴う、シェアの高い主力製品の競争力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 環境戦略を中長期計画の重点項目の一つに位置付け、マテリアリティKPIとして進捗確認を実施 長中期計画における環境配慮強化型製品の製品累計比率の向上（マテリアリティKPI） 環境に配慮した梱包材、部材の検討・導入に関する技術開発の継続的推進
	技術	6	既存の製品・サービスを排出量の少ないものに置換	中期	A/E			
		3	競合他社に対する技術の後れ（マーケットシグナルの不確実性）	中期	C	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー料金、原材料費の高騰、CO2排出量削減の必要性増加による、環境対応材の産業用途への開発とその利用の急速な進展 低エネルギー消費、リサイクル可能、ライフサイクル全体でCO2排出量が低くなる技術の進歩 産業製品分野における環境対応で付加価値を生む新製品の急速な出現とその顧客ニーズの増加 	<ul style="list-style-type: none"> シェアの高い製品に対して、従来の競合製品とは異なる新たな脅威となる環境配慮型製品の出現 その動向やマーケットシグナルをタイムリーに掴め無い事による、シェア消失のリスク増大 対応遅れ挽回のために必要な、急な投資による経営指標の悪化 他社の環境配慮型製品のサービス先行による自社のブランドイメージ低下 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した部材の検討・採用、新製品開発プロセス全体で環境への配慮を高める意識改革の推進 リサイクルやライフサイクル全般でのCO2排出量削減を意識した技術開発の検討 長期的な他社との協業により、自社にない技術の計画的取込みと自社コア技術との融合
		7	低排出技術への移行	長期	E	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量に新たな規制施行 供給元からの既存設備の供給やメンテナンスの中止 既存設備への使用制限 	<ul style="list-style-type: none"> 既存設備の置換えによる設備投資の増大 代替設備が既存設備に劣る事による生産効率低下 	<ul style="list-style-type: none"> 規制情報の的確な入手と対応 導入設備の計画的な更新計画の立案と実施
	現在の 規制	4	カーボンプライシングの動向	中期	B	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動対策・CO2排出量削減の世界的気運の高まり 各国政府が炭素税の導入・税率の増加を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーへの切り替え加速による、エネルギー資源利用料値上げに伴う、工場間接費の上昇 それが誘因となる粗利の減少または不可避の値上げによる顧客離れ 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な自家消費再生エネルギーの導入による、エネルギー購入料金上昇の影響抑制 工場の省エネ、稼働率向上への努力による、間接費削減
		8	規制による使用禁止物質の増加	短期	A	<ul style="list-style-type: none"> 生物や陸海空の環境破壊に関連する物質の規制の強化 石油由来樹脂の使用制限対象分野の拡大 代替物質となる希少な非鉄金属の枯渇 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな規制に対応する材料変更の必要性の高まりやそれに伴う設計変更による投資の増大 規制対応遅れによる主力製品の売上、シェアの低下 	<ul style="list-style-type: none"> 各種工業会参画による規制物質情報の的確な入手と対応 環境に配慮した部材の検討・導入に関する技術開発の継続的推進
	物理的 リスク	緊急性	9	豪雨(雨、霰・雹、雪/氷)、サイクロン、ハリケーン、台風	短期	D	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の影響による局地的豪雨など自然災害の発生頻度増大、降水パターン、気象パターンの極端な変動 世界各地での異常気象などによる災害の多発 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害による自社生産拠点の被災や電力供給停止、出勤不能による生産遅れ・停止の発生 自然災害によるサプライチェーンの分断や混乱 それに伴う自社の生産高、売上高の減少
慢性			5	気温変動	長期	D	<ul style="list-style-type: none"> それに伴う、生産活動の低下（電力供給不足、設備被害、従業員出勤不能など） 気候変動による新ウイルスなど伝染病の蔓延 	

A: 直接費の増加
 B: 直接費と間接費の増加
 C: 商品およびサービスに対する需要減少に起因した売上減少
 D: 生産能力低下に起因した売上減少
 E: 設備投資の増加

■詳細機会一覧

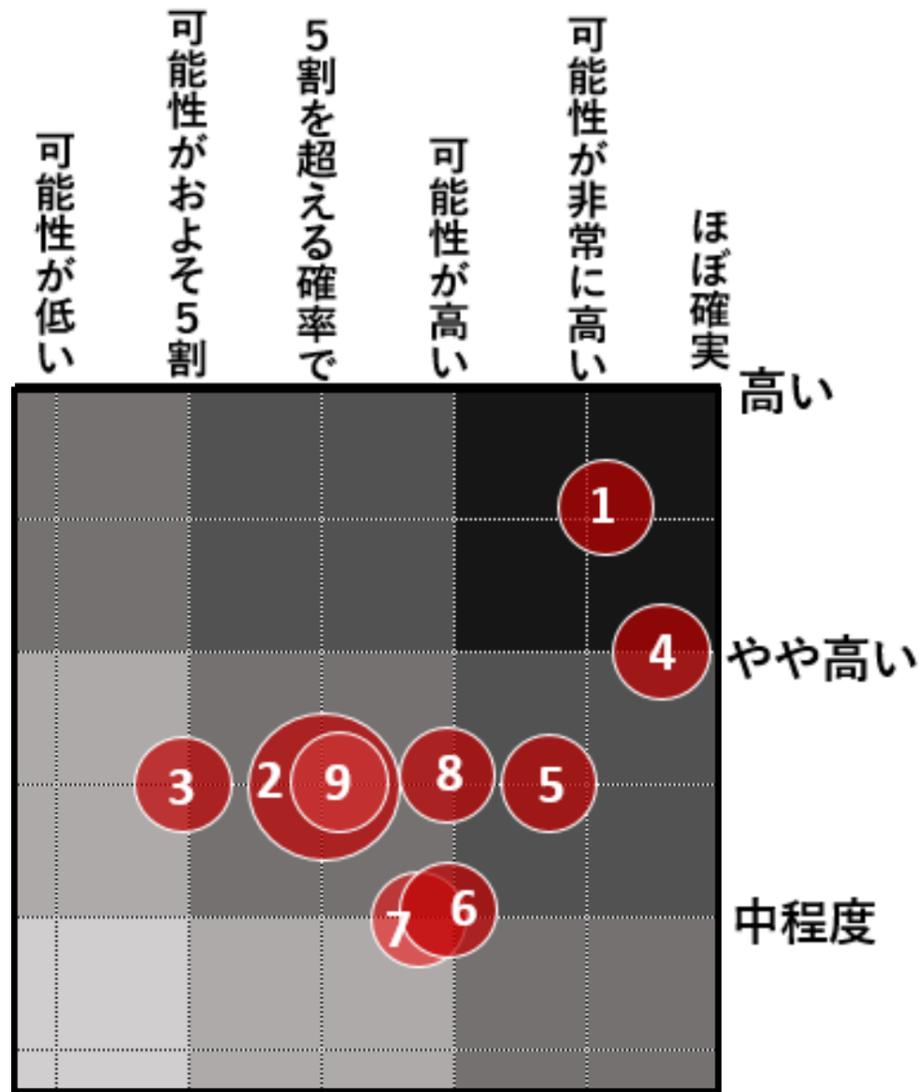
分類	記号	項目	時間的接点	財務上の潜在的影響	想定される外的環境の変化	事業へのインパクト	IDECグループの対応
効率 リソースの	1	事業活動の多様化	長期	A	<ul style="list-style-type: none"> 世界的な気候変動に対する移行対応の進展 化石燃料に依存しない、太陽光発電、地熱発電、風力発電をはじめとする、多様な再生可能エネルギーの利用拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電の需要拡大による、事業拡大の機会 気候関連サービスのさらなる多様化に対する自社の環境分野の事業拡大と変革の機会 	<ul style="list-style-type: none"> 新市場に対する、太陽光発電ビジネスやファインバブルソリューションの提案拡大 その対応を機会とした自社環境事業そのものの変革 新しいニーズを踏まえたHMIやセンシング技術を活用した製品の開発、課題解決型ソリューションの提案
	6	分散的エネルギー生成への移行	長期	C/A			
エネルギー	7	新市場への参入	長期	A	<ul style="list-style-type: none"> これまでとは異なる環境関連市場の創生 		
効率 リソースの	2	R&D及び技術革新を通じた新製品やサービスの開発	長期	B	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動に伴う気温の変化をはじめとする環境ストレスの増加 それに伴う労働者の職場でのウェルビーイング要求の増大 資源の有効活用にもなうリサイクルの要求または活発化 	<ul style="list-style-type: none"> 自社の安全・安心・ウェルビーイングビジネスに対し環境対応側面での要求事項が出現 それに対応した新製品・サービス提供の新たな機会 リサイクルの活発化による製品引き取り等のサービス促進 リサイクルの容易な製品に対するニーズの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 主力製品群に対する環境側面も踏まえた技術革新の加速 市場のウェルビーイング要求に応える新製品開発やソリューション提案の推進 リサイクル容易な素材の製品への応用研究
	3	低排出商品およびサービスの開発および/または拡張	長期	B			
	8	消費者の嗜好の移り変わり	長期	B	<ul style="list-style-type: none"> CO2をはじめとする、温室効果ガス排出量削減の世界的気運の高まり ライフサイクルを通じた製品の低排出量化への要求の増大 	<ul style="list-style-type: none"> 製品における環境配慮側面がより重要視され、それが付加価値を生む大きな要素となる機会 	<ul style="list-style-type: none"> 現在取組中の環境配慮型製品開発のコンセプトに基づく、ライフサイクルを通じた低排出量製品・サービスの提供
	4	新技術の使用	長期	B	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動に伴う様々な労働環境の変化に対応する新たな技術革新への要求の増大 労働環境の多様化や生産年齢人口の減少による無人化や遠隔技術の発達 	<ul style="list-style-type: none"> 作業者のリモートワーク化、無人化に伴う遠隔監視、自動制御のニーズの増大 AIに代表されるソフトウェアによる認識・判断技術による新たなビジネス機会 職場での人材の新たな活性化によるウェルビーイング実現の機会 	<ul style="list-style-type: none"> 自社のこれまでの保有技術の延長線上からの脱却 M&Aや業務提携などの推進、人材採用・育成によるソフトウェアやシステム関連技術の強化 ニーズの多様性への対応のための、他社との提携・協業等による新たな技術の取り込み推進 ウェルビーイング企業風土の醸成
市場 リソース	9	リソースの代替/多様化	中期	B			
製品およびサービス	10	異常気象による労働環境悪化に対応した安全関連製品の事業拡大	中期	B			
	5	再生可能エネルギープログラムへの参加および省エネ対策の適応	長期	A	<ul style="list-style-type: none"> 排出量削減施策としての、様々な再エネ開発、省エネ対策プロジェクトの立ち上がり それに伴う新たな市場の創生 	<ul style="list-style-type: none"> 適切なソリューションのタイムリーな提供の必要性 新市場と新興市場への参入を通じた売上増加の機会 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電ビジネスやファインバブルソリューションなど、環境関連事業の展開 自社の新規事業をドアオープナーとした新たな市場への参入 新市場のニーズに適合した製品・サービスの提供

A: 新市場と新興市場への参入を通じた売上増加

B: 商品とサービスに対する需要増加に起因する売上増加

C: 間接費（運営費）の減少

■詳細リスクマップ



■詳細機会マップ

